

「安心▷ 誇り▷ 挑戦 ひろしまビジョン」改定について

R8.2 経営企画チーム

1 改定の趣旨

10年後を展望して策定した「安心▷ 誇り▷ 挑戦 ひろしまビジョン」（令和2年10月策定）について、令和8年6月定例会での改定に向けて見直しを行う。

2 今後のスケジュール（予定）

※ 令和7年8月に第3回総合計画審議会で骨子案について審議

日程	内 容
2月9日、13日	総合計画審議会第7～8回小委員会（改定素案の審議）
3月25日	第4回総合計画審議会（改定素案の審議）
3月30日	総合計画審議会【答申】
4月中旬	全常任委員会・DX推進・行財政対策特別委員会（改定素案の説明）
（常任・特委後）	パブリックコメント開始
5月中旬	DX推進・行財政対策特別委員会《改定素案の集中審議》
6月中旬	6月定例県議会 改定案（議案）提出

3 骨子案からの主な変更点（予定） 別紙参照

（1）「ビジョンの目指す姿」の記載内容変更

【変更前】

県民一人一人が「安心」の土台と「誇り」により、夢や希望に「挑戦」しています
～仕事も暮らしも。里もまちも。それぞれの欲張りなライフスタイルの実現～

【変更後】

県民一人一人が「安心」の土台と「誇り」により、夢や希望に「挑戦」しています
～仕事も暮らしも。里もまちも。それが望むライフスタイルの実現～

（変更理由）

- 「欲張りなライフスタイル」は、仕事と暮らしを別々と捉えた表現であったが、DXの進展や働き方の多様化により、仕事と暮らしを一体的に考える柔軟な働き方が個人の幸福や生産性向上の実現に不可欠になってきているため、表現を修正

(2) 改定のポイント「目指す姿の実現に向けた今後5年間の方向性」の記載内容変更
【変更前】

シン・ファミリーフレンドリー

“家族で暮らしやすいまちは、誰もが暮らしやすい”

家族が一緒に暮らしやすい社会を実現することは、単身世帯やひとり親世帯、高齢世帯など、どのような世帯の人にとっても暮らしやすい社会につながるという「ファミリー・フレンドリー」を深化・進展・浸透させ、情勢変化に応じた「シン・ファミリーフレンドリー」な広島県を創っていきます。

【変更後】

シン・ファミリーフレンドリー

“家族で暮らしやすいまちは、誰もが暮らしやすい”

子供がいる家庭、高齢者がいる家庭、障害者がいる家庭、ひとり親家庭など、様々な家族が暮らしやすい社会を実現することは、誰にとっても暮らしやすい社会につながります。ひいては、本県を訪れる人にとっても、本県に関わる人にとっても、魅力的に感じてもらえる「シン・ファミリーフレンドリー」な広島県を創っていきます。

(変更理由)

- 「家族」には、子供がいる共働き世帯以外にも様々な形があることから、表現を修正
- 現に広島に住んでいない人にも、広島に魅力を感じてもらい、将来的には広島に住みたい、関わりたいと思ってもらえるような県にしたいという考え方から修正

(3) 改定のポイント「今後5年間で特に注力する重点項目」の変更

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none">・若者応援・子育て応援・女性応援・外国人応援・強固な経済基盤の確立	<ul style="list-style-type: none">・若者 <u>に選ばれる広島県</u>・女性 <u>に選ばれる広島県</u>・子育て <u>しやすい広島県</u>・強固な <u>社会</u> 経済基盤の確立・<u>広島の財産と経験の継承</u>

(変更理由)

- どのような広島県にしていきたいかが分かるように表現を修正
- 県民の皆様が夢や希望をあきらめることなく挑戦するためには、経済基盤だけでなく、社会基盤も重要であることから、「社会経済基盤」に表現を修正
- 広島が持つ強みや魅力を通じて、本県でしか得られない価値を提供するとともに、それらの財産を将来世代に引き継いでいくことも重要であることから、「広島の財産と経験の継承」を追加
- 「外国人応援」は、「若者」、「子育て」、「女性」、「強固な社会経済基盤の確立」に包含されるものとして修正

(4) 施策領域の指標等の設定

(変更内容)

- 施策領域ごとの説明記載の中に、新たに「指標」、「目指す姿の実現に当たって考慮すべき課題」、「目指す姿の実現に向けた取組の方向の内容」を追記